



マイクロバブル用循環金具 設置工事説明書

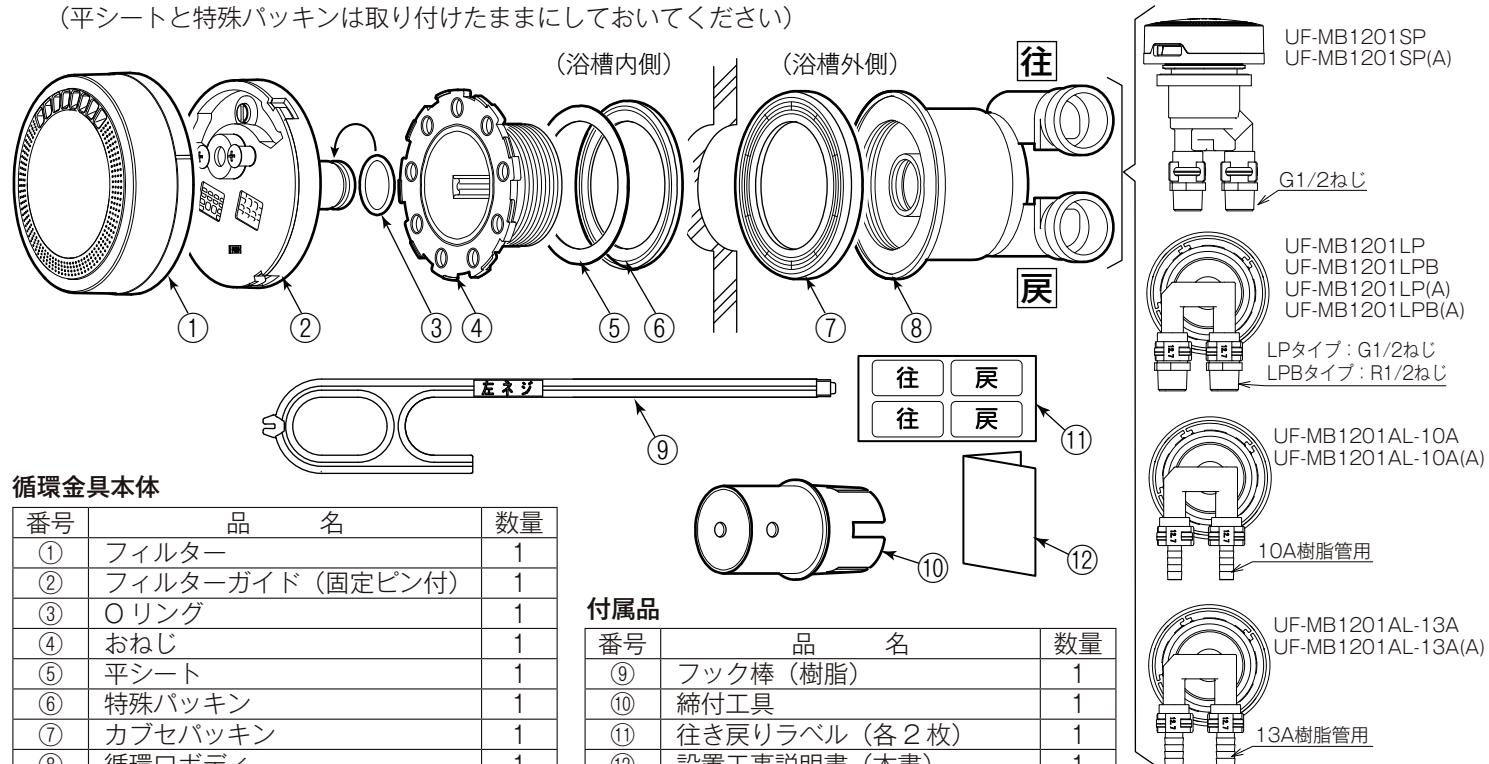
! 注意

- 循環金具の角部や突起で手指などにけがをしないよう注意してください。
- 循環金具からは、高温水（60 ~ 80°C）が出ることがありますので注意してください。
- 強酸性の洗剤や塩素系のカビ洗浄剤は部品をいためるおそ

- この循環金具は、浴槽の厚さ 15 mm 以下 のものに使用できます。
- 製品買い換え時に既設のおいだき配管を使用する場合は、配管に使用しているパッキンを必ず交換してください。劣化したパッキンが配管内に入ると、循環金具の詰まりやマイクロバブルの量が減る原因となります。

1 同梱部品の確認

- 取り付けの前に、下記部品の数量を確認してください。
(平シートと特殊パッキンは取り付けたままにしておいてください)



循環金具本体

番号	品名	数量
①	フィルター	1
②	フィルターガイド (固定ピン付)	1
③	O リング	1
④	おねじ	1
⑤	平シート	1
⑥	特殊パッキン	1
⑦	カブセパッキン	1
⑧	循環口ボディ	1

付属品

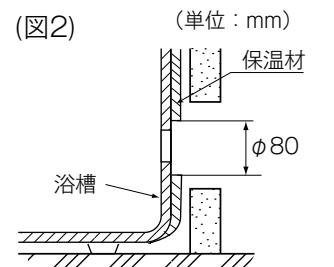
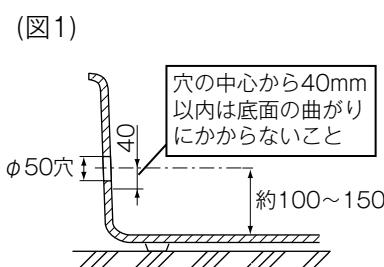
番号	品名	数量
⑨	フック棒 (樹脂)	1
⑩	締付工具	1
⑪	往き戻りラベル (各 2 枚)	1
⑫	設置工事説明書 (本書)	1

2 取り付け手順

■ 浴槽の穴あけ

- 浴槽の底部から約 100 ~ 150mm の位置に ø 50mm の穴を開け、パッキンの当たり面を平滑にしてください。このとき穴の中心から 40mm 以内は浴槽底面の曲がりにかかる位置にし、平面部を確保してください。また、バリはきれいにとってください。(図 1)

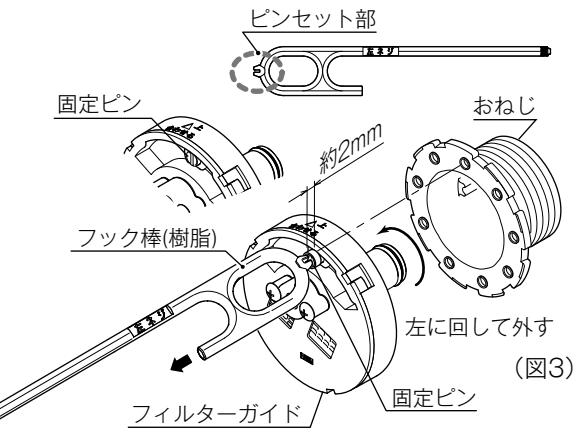
* 浴槽の外側に保温材があるものは、直径約 80mm の範囲内を丁寧に取り除いて平面を確保してください。(図 2)



■ 浴槽への取り付け

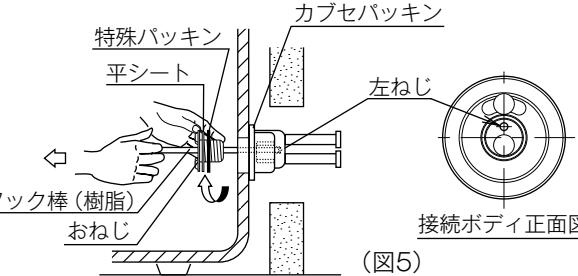
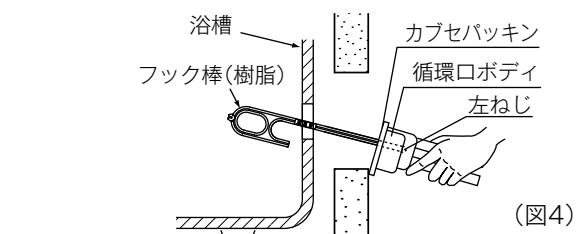
【1】分解方法

- 1) フィルターを左に回して取り外してください。
- 2) フィルターガイドの固定ピンにフック棒(樹脂)のピンセット部を差込み軽く引き、固定ピンの頭部が 2mm ほど飛び出した状態にした後、フック棒(樹脂)を抜いてください。
- 3) フィルターガイドを左に回しおねじから取り外してください。
※ パッキン類、O リングの紛失にご注意ください。(図 3)
※ 固定ピンはフィルターガイドより外さないでください。(紛失の原因となります) 強く引っ張ると外れます。外れた場合は押し込んで、再度上記 2)・3) の作業をしてください。



【2】循環金具の取り付け

- 1) 循環口ボディの左ネジにフック棒(樹脂)を取り付けます。
※ フック棒(樹脂)は、おねじ締付けの際、循環口ボディの回り防止の為左ねじになっています。
- 2) 浴槽の穴にフック棒(樹脂)の U 型部分を引っ掛けます。(図 4)
- 3) 浴槽側からフック棒(樹脂)を引き寄せ、特殊パッキン平シート・おねじを通し、循環口ボディに手締めします。おねじにセットされている平シート・特殊パッキンはおねじから外さないでください。取り外すと水漏れの原因となります。(図 5)
- 4) フック棒(樹脂)を右に回して取り外してください。
- 5) 付属の締付工具をおねじに差し込み、右に回してしっかりと {14.7N·m (150kgf·cm) 程度} 固定してください。めやすは手で軽く回らない状態になった後、さらに 1/2 回転程度右へ回してください。プラスドライバーを締付工具の横穴に差込むと便利です。(図 6)
※ おねじの底付き穴のいずれかが必ず真上になるように固定してください。(図 7)
※ おねじの締め付け不足は水漏れの原因となります。
※ 締付工具は使い切りタイプですので同梱されている物を使用してください。

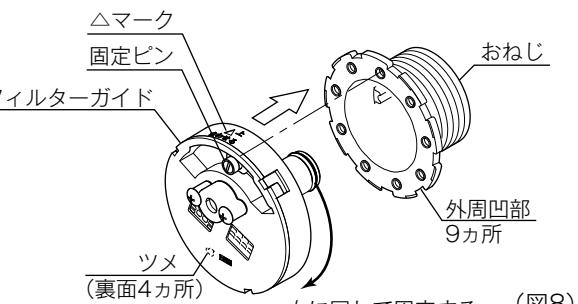
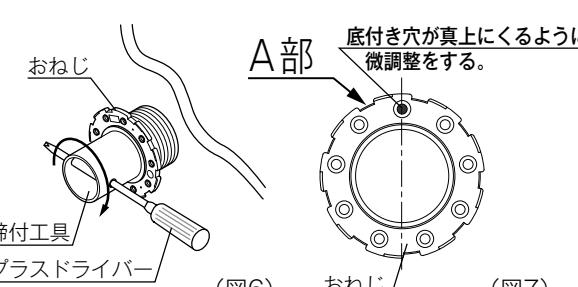


【3】漏れ検査

専用の漏れ検査治具(別売: UF-1000WPS または UF-800WPS)を使用して、おいだき配管の漏れ検査を必ず行ってください。検査は水圧 200kPa(約 2.0kgf/cm²) で 30 分です。(取付方法・検査方法については漏れ検査治具説明書およびマイクロバブルバスユニットの設置工事説明書をご覧ください。)

【4】フィルターガイド・フィルターの取り付け

- 1) フィルターガイドの△マークを、(図 7) の A 部に合わせてはめ込んでください。
- 2) フィルターガイドを右に回して取り付けてください。(図 8)
- 3) 固定ピンを押し込んでください。
※ フィルターガイドをいっぱいまで回さないと固定ピンが押し込めません。(図 9)
※ 上記以外の位置で取り付けると、ふろの沸き上がり温度が上下均一にならなかったり、マイクロバブル運転ができないなどの不具合の原因になります。
- 4) フィルターの△マーク位置をフィルターガイドの△マークに合わせてはめ込んでから、右に止まるまで回してください。(図 10)
- 5) フィルター前面化粧板に貼ってある透明の保護フィルムをはがしてください。



お願い

フィルターをこまめに掃除してください

- フィルターを外し、歯ブラシなどで洗ってください。フィルターが詰まると、おふろの温度が設定した温度にならない、マイクロバブル運転ができないなどの不具合の原因になります。
- 掃除後はもと通りに取り付けてください。

